いちじゅくの木

小川未明

青空文庫

年郎くんと、吉雄くんは、ある日、学校の帰りにお友だちのところへ遊びにゆきました。そのお家には、一本の大きないちじゅくの木があって、その木の枝を差して造った苗木が、幾本もありました。

「この木を持ってゆかない？　二、三年もたつと実がたくさんなるよ。」と、友だちはいいました。

「ほんとう？　そんなに早く、実がなるの。」と、二人は、おどろきました。

「ほんとうさ、このいちじゅくは、とても大きくて、うまいんだよ。」と、友だちは、自慢したのであります。

「そうかい、もらっていって、植えるから。」と、二人は同じくらいの苗木を一本ずつ、ぶらさげて、お家へ帰ったのでした。

年郎くんは、その小さい木をどこに植えようかと考えました。

「圃にうえようかな、土がいいから、きっと早く大きくなるだろう。」といって、圃に植えたのでした。

吉雄くんも、その木をどこに植えたらいいかなと考えました。

「庭のすみに植えてやろう。そう早く大きくなりはしないだろうから、邪魔になりはしない。」といって、庭のすみに植えました。

圃に植えた年郎くんのいちじゅくは、日当たりがよくまた風もよく通ったから、ぐんぐんと伸びてゆきました。翌年には、もう枝ができて、大きな葉が、地の上に黒い蔭をつくりました。すると、小鳥がきて止まりました。また頭の上を高く、白い雲が悠々と見下ろしながら、過ぎてゆきました。

丹精して、野菜を作っていられたお祖父さんは、

「おどろいたなあ。」と、おっしゃったけれど、木は、そんなことに関係なく、ぐんぐんと大きくなりました。そして、三年目からは、ほんとうに、実がたくさんなりました。

吉雄くんの植えたいちじゅくは、庭のすみで、ほかの木の下になって、日がよく当たらなかったので、いつまでたっても実がなりませんでした。

「私を、こんなところに植えたんだもの。」と、木は、不平をいいつづけていました。

ある夏のこと、ちょうど休暇が終わりかけるころから、年郎くんの家のいちじゅくは、たくさん実を結んで、それは紫色に熟して、見るからにおいしそうだったのです。

ちょうど遊びにきた吉雄くんは、これを見て、びっくりしました。

「これは、いつか、もらってきた木かい?」

「ああ、そうだ。」と、年郎くんは、誇らしげに答えました。

「こんなに、大きくなったのかなあ、そしてこんなにたくさん実を結んだのかなあ。」

「君の家のは?」

「僕のうちのは、まだ一つも実がならないよ。」と、吉雄くんは、いいました。
「きっと、場所がいけないのだよ。」
「場所が？」
「これは、土がよくて、日がよく当たるから、早く大きくなったのだと、お祖父さんがいっていらしたよ。」と、年郎くんは、いいました。これをきいて、吉雄くんは、はじめて、自分の植え場所の悪かったのを悟ったのでした。
「果物は、日のよく当たるところでなければ、よく育たないとお父さんもおっしゃったよ。」
「じゃ、僕も、こんど日当たりのいいところへ植えかえてやろう。」といって、吉雄くんは、自分のうちのいちじゅくが、くらべものにならぬほど、成長のおそいのをかわいそうに感じたのでした。
吉雄くんは、お家へ帰って、さっそく、庭の片すみにあったいちじゅくの木を、圃へ移してやりました。
「僕がわるかったのだ。さあ、早く大きくなって、兄弟に、負けてはならない。」と、いちじゅくの木に向かって、いいました。
吉雄くんは、それからは、よく木に注意して、肥料をやったりしました。
すると、吉雄くんのいちじゅくの木も、ぐんぐん大きくなってゆきました。そして、早くも、明くる年には、みごとな実が幾つもついたのであります。

これを見て、吉雄くんは、思いました。

みんな同じような頭を持って、生まれてきながら、よくできる人になり、また、そうでない人となるのは、やはり、この二本のいちじゅくの木のように、どこかに故障があったにちがいなかろう？　自分の力でできることは、よく反省して、注意を怠ってはならない――。

ほんとうに、あのとき、吉雄くんが、自分の木はだめだといって、そのままにしておいたり、もしくは、捨ててしまったら、どうでしたでしょう。かわいそうに、その木は、ついに、一つの実すら結ばずにしまったにちがいありません。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　10」講談社
1977（昭和52）年8月10日第1刷発行
1983（昭和58）年1月19日第6刷発行
※表題は底本では、「いちじゅくの木《き》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：仙酔ゑびす
2012年7月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

いちじゅくの木

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/